施設カルテ

施設番号	118	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	大宮　第3部分団機庫		
所在地(住所)	東区西大寺一宮0916-002-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	ー
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	ー	小学校区	ー
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	9.99 ㎡
目的外使用	無	建築面積	9.99 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	9.99 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

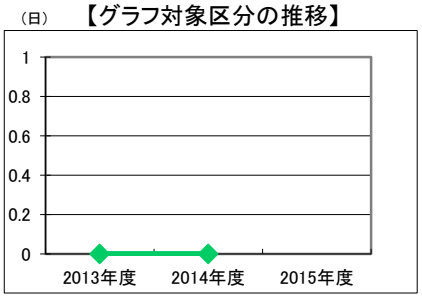
用途地域	指定なし	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×		出入口	×		洪水時の浸水深	指定なし
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし
冷暖房設備	×	設備(電気)	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
通信設備	×	設備(雨水・中水)	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
調理設備	×	その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	高い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無		開設年月日	1900/01/01		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数(日)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数],[利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	118	施　設　名	大宮　第3部分団機庫

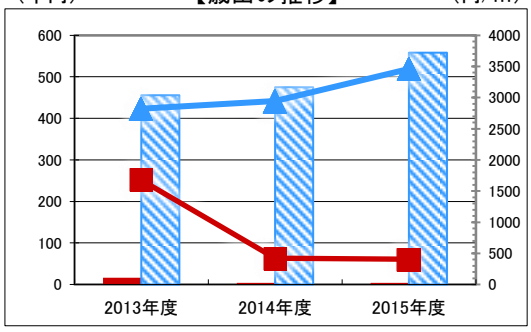
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				17	4	4
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	17	4	4
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

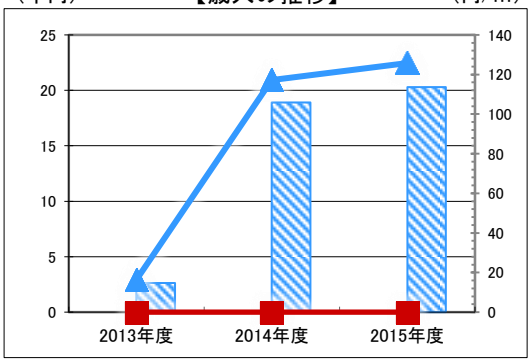
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	17	第114位	1,677	第39位
2014年度	4	第174位	422	第109位
2015年度	4	第175位	406	第106位

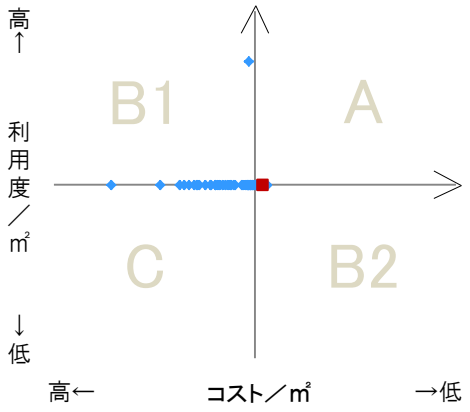
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	118	施　設　名	大宮　第3部分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1900/01/01	1	0	9.99	診断済	

施設カルテ

施設番号	119	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	雄神　第4部分団機庫		
所在地(住所)	東区西隆寺0705-002-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	西大寺中学校	小学校区	雄神小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	27.10 ㎡
目的外使用	無	建築面積	27.10 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	82.50 ㎡

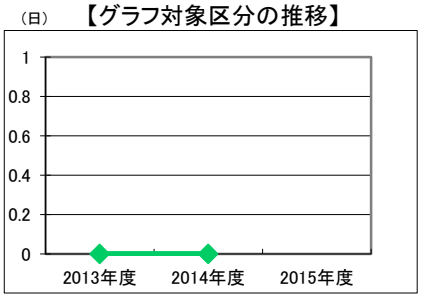
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	指定なし			法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	指定なし			全棟数	1 棟	駐車台数	1 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	1.0～2.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が7～10%の地域
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1900/01/01	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数(日)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数],[利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	119	施　設　名	雄神　第4部分団機庫

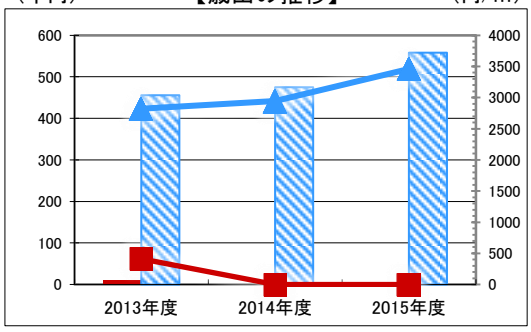
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				11	0	0
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	3	0	0
			ガス	0	0	0
			水道	8	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

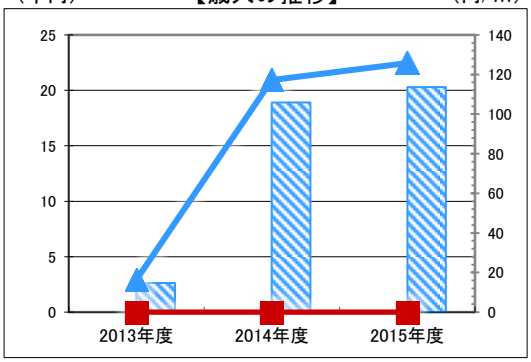
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	11	第140位	413	第105位
2014年度	0	－	0	－
2015年度	0	－	0	－

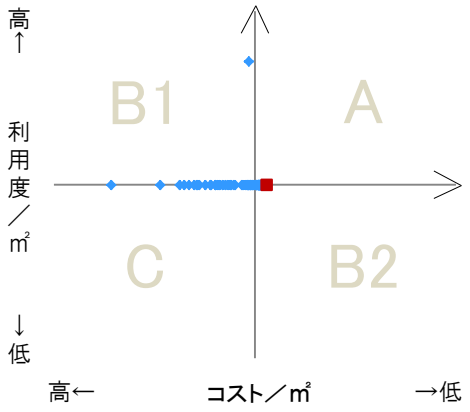
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	119	施　設　名	雄神　第4部分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	コンクリートブロック造	1900/01/01	1	0	27.10	診断済	

施設カルテ

施設番号	120	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	可知　第3部分団機庫NO1		
所在地(住所)	東区目黒町0206-003-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	旭東中学校	小学校区	芥子山小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	7.00 ㎡
目的外使用	無	建築面積	7.00 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	7.14 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法　消防組織法

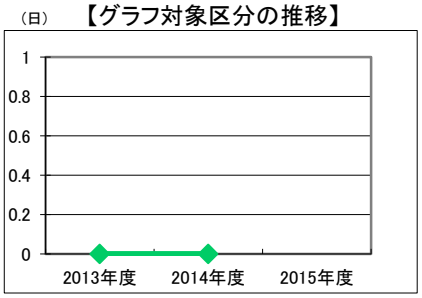
用途地域	第二種住居地域	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×		出入口	×		洪水時の浸水深	1.0～2.0m未満
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし
冷暖房設備	×	設備(電気)	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
通信設備	×	設備(雨水・中水)	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
調理設備	×	その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	きわめて高い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無		開設年月日	1900/01/01		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数(日)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数],[利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

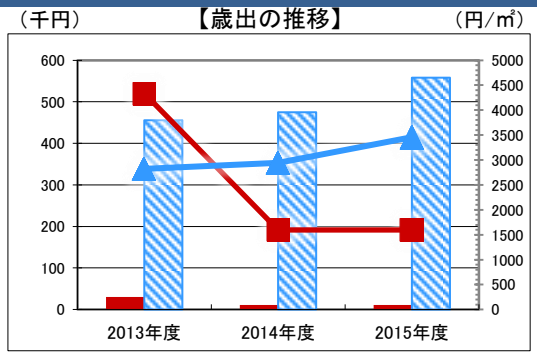
施設番号	120	施　設　名	可知　第3部分団機庫NO1

財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				30	11	11
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	22	3	2
			ガス	0	0	0
			水道	8	9	9
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－



凡例					
	当該施設		総額（千円）		延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均		総額（千円）		延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

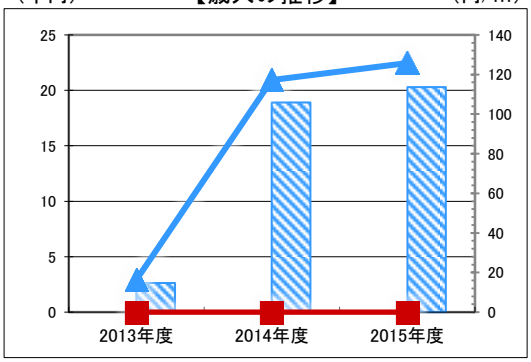
常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－



凡例					
	当該施設		総額（千円）		延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均		総額（千円）		延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	30	第57位	4,335	第14位
2014年度	11	第143位	1,602	第35位
2015年度	11	第139位	1,596	第36位

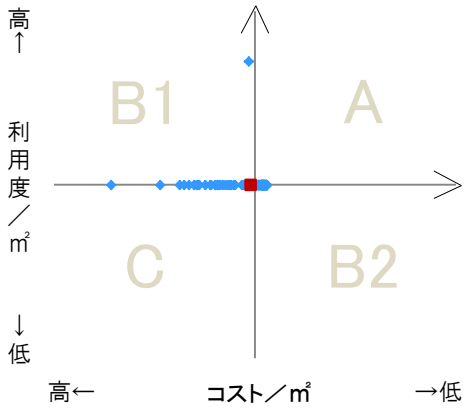
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	120	施　設　名	可知　第3部分団機庫NO1

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1900/01/01	1	0	7.00	診断済	

施設カルテ

施設番号	122	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	金岡　分団機庫		
所在地（住所）	東区金岡東町二丁目0659-000-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺（本庁管轄区域）
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	西大寺中学校	小学校区	西大寺南小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	53.00 ㎡
目的外使用	無	建築面積	53.00 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	－ ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

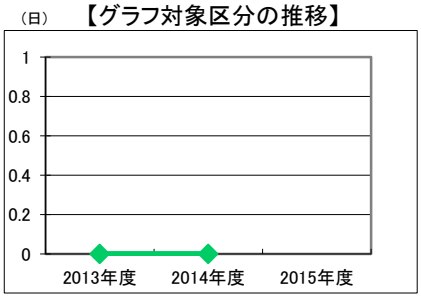
用途地域	第一種住居地域	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	2　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.5～1.0m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	0.3～1.0m未満
	冷暖房設備	○		設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が10～20%の地域
	通信設備	×		設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6強の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	分煙対策		全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用		無	開設年月日		1900/01/01	供用廃止日		ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	122	施　設　名	金岡　分団機庫

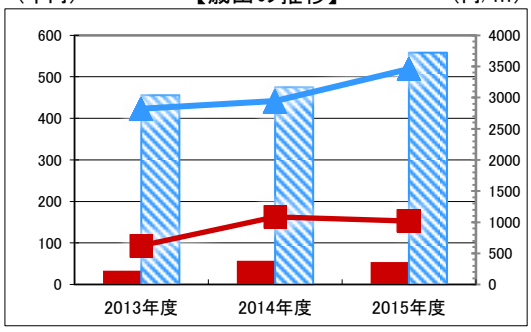
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				33	58	54
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	24	48	46
			ガス	0	0	0
			水道	9	9	8
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

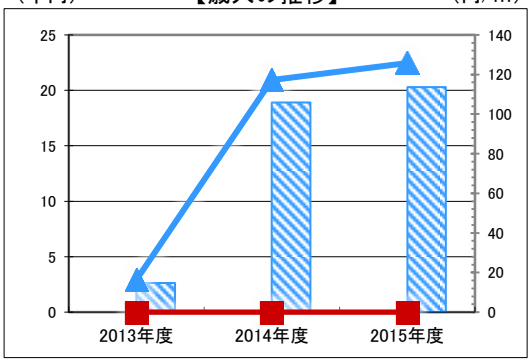
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	33	第54位	624	第68位
2014年度	58	第34位	1,086	第43位
2015年度	54	第36位	1,020	第44位

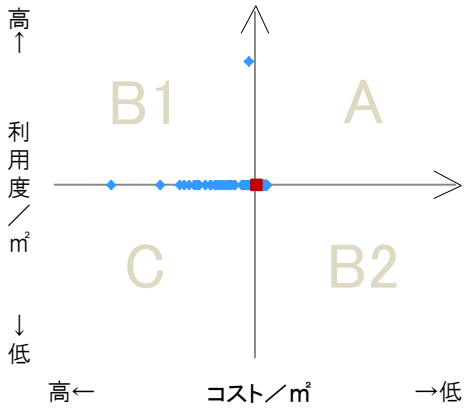
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：　■…当該施設　　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	122	施　設　名	金岡　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	コンクリートブロック造	1900/01/01	1	0	26.00	診断済	
2	(その他)その他	木造Ⅰ	1991/03/28	1	0	27.00		

施設カルテ

施設番号	123	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	古都　分団機庫		
所在地（住所）	東区鉄0913-000-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺（本庁管轄区域）
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	旭東中学校	小学校区	古都小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	20.01 ㎡
目的外使用	無	建築面積	20.01 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	20.01 ㎡

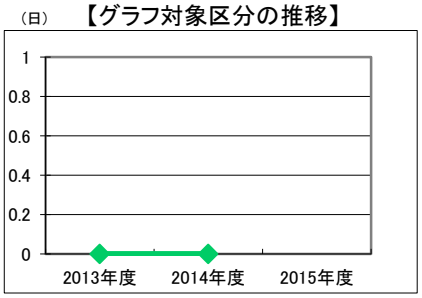
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	指定なし			法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし			全棟数	1　棟	駐車台数	1　台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	設備（電気）	×	階段	×	地震・危険度	ー
	通信設備	×	設備（雨水・中水）	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	極めて低い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	警戒区域（土石流）
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1900/01/01	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	123	施　設　名	古都　分団機庫

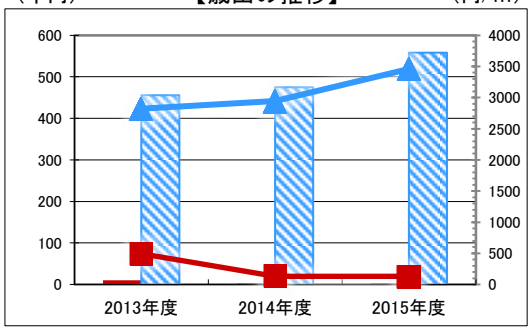
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				10	3	3
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	10	3	3
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

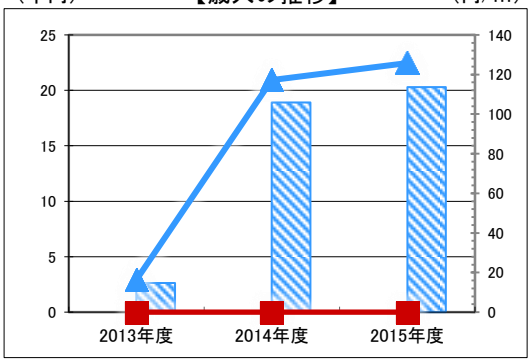
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	10	第148位	496	第86位
2014年度	3	第176位	136	第171位
2015年度	3	第178位	132	第170位

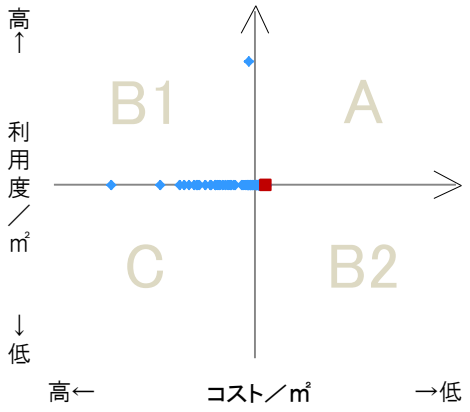
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	123	施　設　名	古都　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1900/01/01	1	0	20.01	診断済	

施設カルテ

施設番号	124	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	太伯　分団機庫		
所在地（住所）	東区乙子0776-001-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺（本庁管轄区域）
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	山南中学校	小学校区	太伯小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	14.58 ㎡
目的外使用	無	建築面積	14.58 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	14.58 ㎡

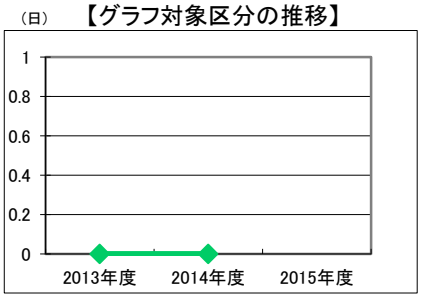
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	指定なし			法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	指定なし			全棟数	1 棟	駐車台数	1 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	0.5～1.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	0.01～0.3m未満
	冷暖房設備	×	設備（電気）	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が10～20%の地域
	通信設備	×	設備（雨水・中水）	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1969/02/18	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	124	施　設　名	太伯　分団機庫

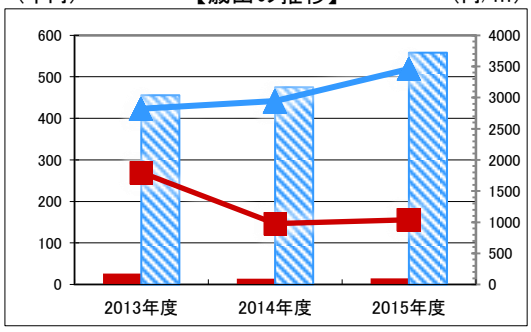
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				26	14	15
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	26	14	15
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

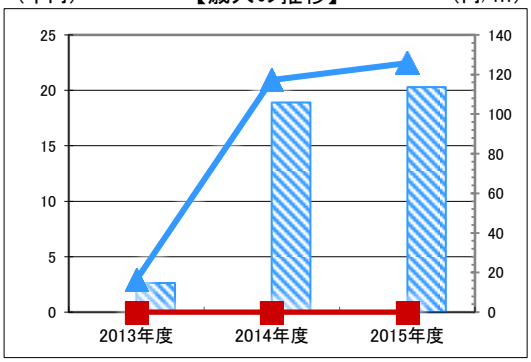
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	26	第69位	1,798	第35位
2014年度	14	第128位	978	第50位
2015年度	15	第122位	1,039	第43位

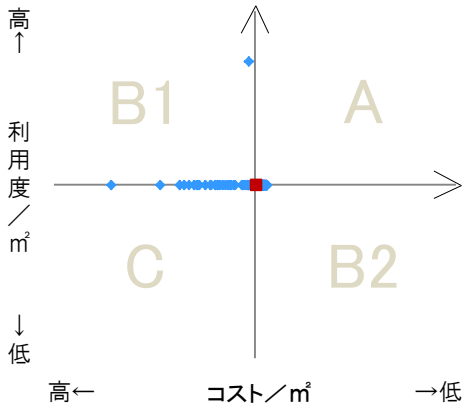
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	124	施　設　名	太伯　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1969/02/18	1	0	14.58	診断済	

施設カルテ

施設番号	125	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	豊　第2分団機庫		
所在地(住所)	東区西大寺川口0165-000-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	西大寺中学校	小学校区	豊小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	11.25 ㎡
目的外使用	無	建築面積	11.25 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	11.25 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

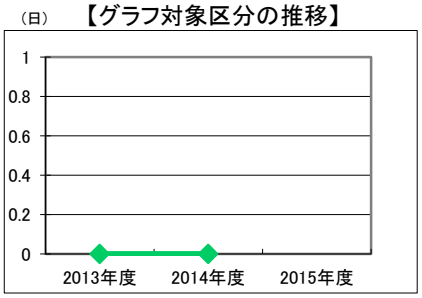
用途地域	第一種中高層住居専用地域	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.01～0.5m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が5～7%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×	分煙対策		全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用		無	開設年月日		1969/02/18	供用廃止日		ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数(日)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数],[利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	125	施　設　名	豊　第2分団機庫

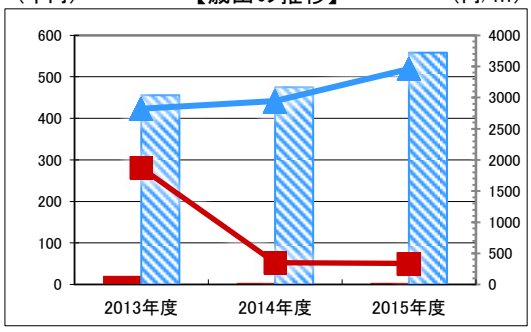
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				21	4	4
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	21	4	4
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

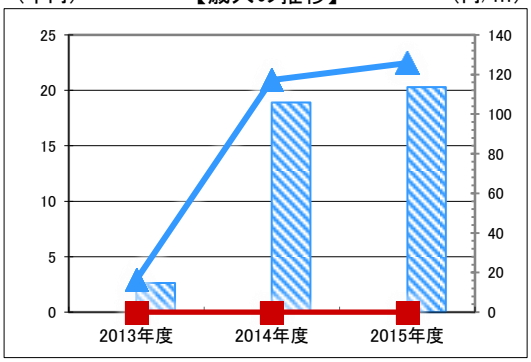
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	21	第97位	1,872	第33位
2014年度	4	第175位	353	第126位
2015年度	4	第176位	339	第120位

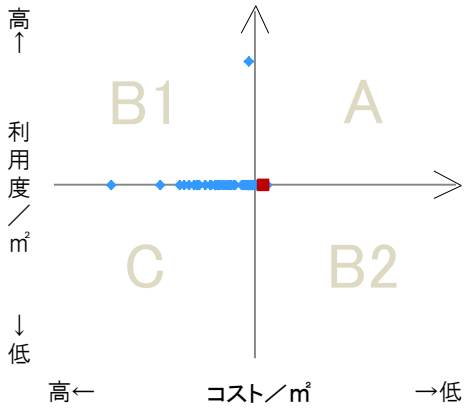
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	125	施　設　名	豊　第2分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1969/02/18	1	0	11.25	診断済	

施設カルテ

施設番号	126	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	豊　第6部分団機庫		
所在地(住所)	東区長沼0620-002-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺(本庁管轄区域)
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	西大寺中学校	小学校区	豊小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	12.00 ㎡
目的外使用	無	建築面積	12.00 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	12.00 ㎡

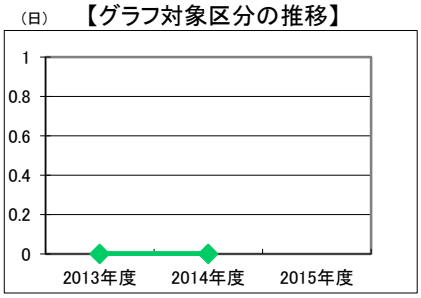
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	指定なし			法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	指定なし			全棟数	1 棟	駐車台数	1 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	0.5～1.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	0.01～0.3m未満
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1969/02/18	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数(日)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数],[利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	126	施　設　名	豊　第6部分団機庫

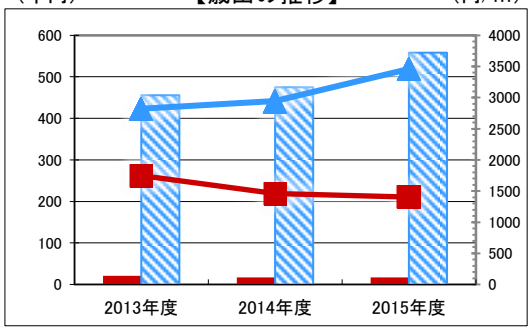
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				21	17	17
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	21	17	17
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

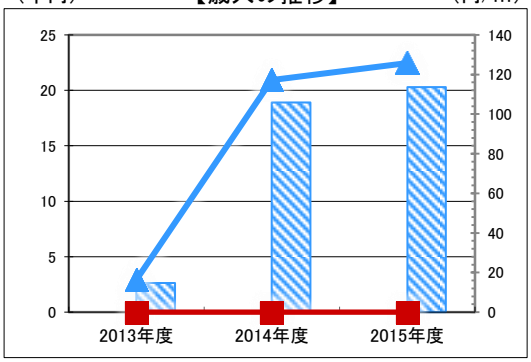
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	21	第99位	1,748	第37位
2014年度	17	第117位	1,458	第37位
2015年度	17	第118位	1,404	第38位

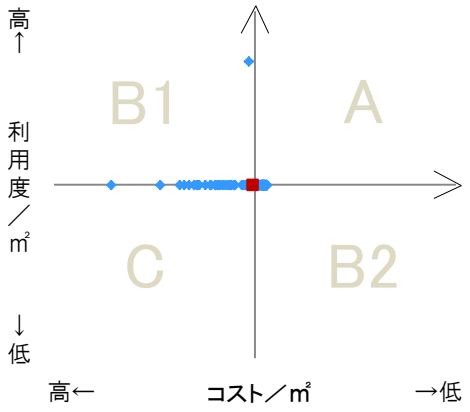
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	126	施　設　名	豊　第6部分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1969/02/18	1	0	12.00	診断済	

施設カルテ

施設番号	127	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	平島　分団機庫		
所在地（住所）	東区南古都0004-033-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	上道
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	上道中学校	小学校区	平島小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	20.00 ㎡
目的外使用	無	建築面積	20.00 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	－ ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

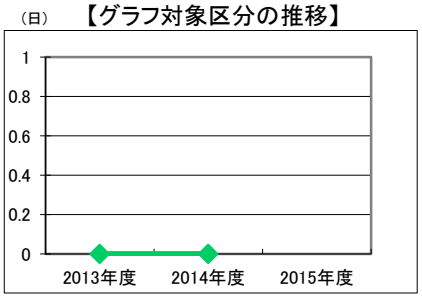
用途地域	第一種住居地域	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×		出入口	×		洪水時の浸水深	0.01～0.5m未満
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし
冷暖房設備	×	設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	ー
通信設備	×	設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
調理設備	×	その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	高い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無		開設年月日	1971/05/01		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	127	施　設　名	平島　分団機庫

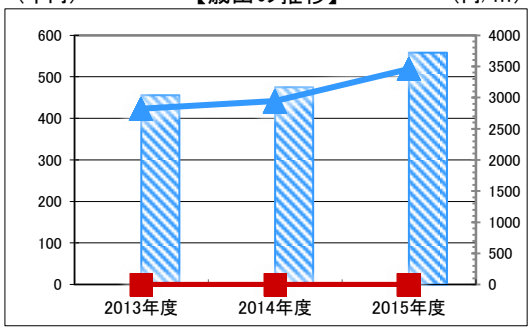
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				0	0	0
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	0	0	0
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

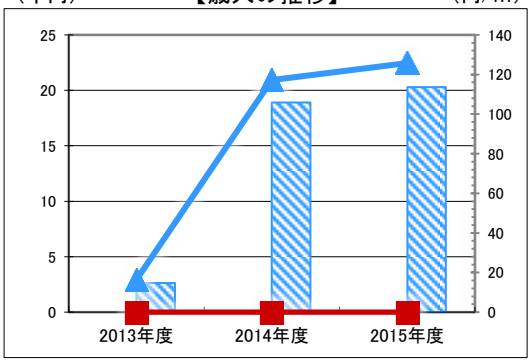
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	0	－	0	－
2014年度	0	－	0	－
2015年度	0	－	0	－

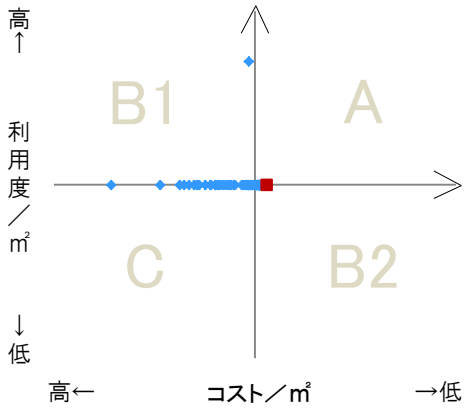
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	127	施　設　名	平島　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)倉庫	木造Ⅰ	1971/05/01	1	0	20.00	診断済	

施設カルテ

施設番号	128	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	芳野　分団機庫		
所在地（住所）	東区浅越0288-001-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	西大寺（本庁管轄区域）
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	西大寺中学校	小学校区	西大寺小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	22.68 ㎡
目的外使用	無	建築面積	22.68 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	70.75 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

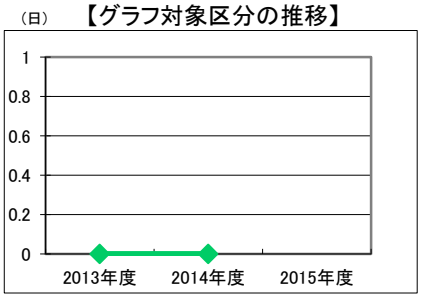
用途地域	指定なし	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×		出入口	×		洪水時の浸水深	1.0～2.0m未満
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし
冷暖房設備	×	設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
通信設備	×	設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
調理設備	×	その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	きわめて高い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無		開設年月日	1991/03/31		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	128	施　設　名	芳野　分団機庫

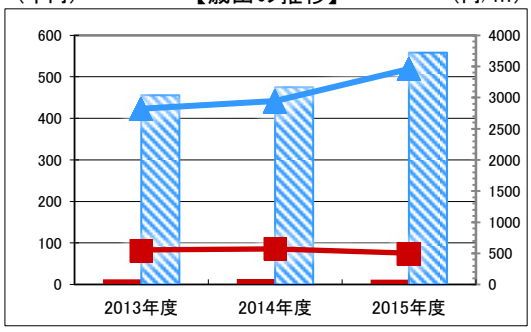
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				13	13	11
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	4	4	4
			ガス	0	0	0
			水道	8	9	7
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

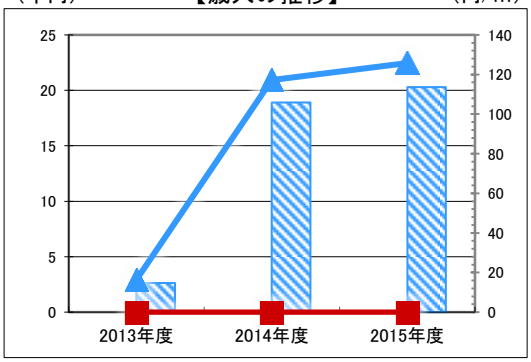
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	13	第131位	555	第72位
2014年度	13	第134位	573	第75位
2015年度	11	第136位	504	第83位

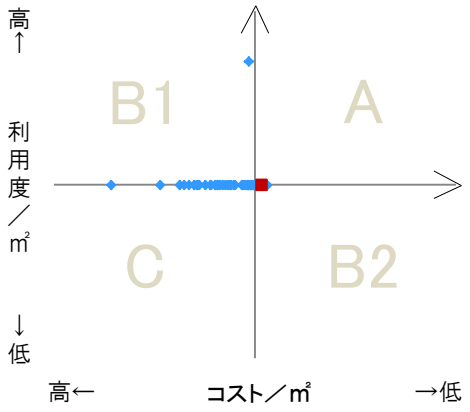
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	128	施　設　名	芳野　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)倉庫	軽量鉄骨造	1991/03/31	1	0	22.68		